

はじめに

税金に関して学ぶ単元としては、「わたしたちの生活と政治」の小単元「震災復興の願いを実現する政治」がある。教科書の一般的な指導計画に沿って、震災復興では、国・都道府県・市町村の税金が使われることを学習した。また小単元「わたしたちの暮らしと日本国憲法」では、「国民の義務」について指導した。そして、「国民の義務」の学習の後に「租税教室」を実施した。

「租税教室」の前には、詳しい税金の学習はせず、事前の知識はあまりない状態だった。歴史単元では、奈良時代の租・調・庸、江戸時代の年貢、幕末～明治における「関税自主権」や「地租改正」等について学んでいるものの、税金について特に詳しく学習したわけではない。「租税教室」において、税の意義や大切さを学習したのが初めてといえる。租税教室の後、授業で「税の種類と特徴」というテーマで担任が 1 時間授業を行った。

I 租税教室

1 月 21 日(月)の 3 校時、3 クラス合同で実施した。

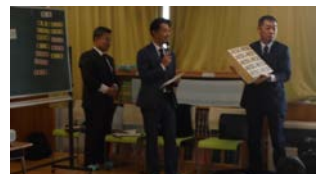
登米法人会から 3 名の講師が来校し、6 年児童 111 名に講義してくれた。

- ①知っている税金にはどのようなものがあるか発表する。
- ②さまざまな施設について税金が使われているものと使われていないものを区別する。
- ③学校で税金が使われているものを考える。
- ④税金を払う必要があるかどうか発表する。
- ⑤鑑賞教材「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を鑑賞する。
- ⑥ 1 億円のレプリカを持ち、重さや量を実感する。
- ⑦感想を発表する。
- ⑧お礼の挨拶

また租税教室に前後して、社会科の時間以外にも、税に関する標語コンクールや税に関する絵はがきコンテストに応募し、税に関する興味関心を高めることができた。

児童の感想

- ・租税教室の前は、消費税しか知らなかったけれど、終わった後は自動車税などたくさんあることが分かりました。
- ・私は、「税金はあんなに必要なんだ」と思いました。前までは消費税なんていらなと思っていました。けれど、租税教室の話を聞いたら考えが変わりました。
- ・たばこ税や酒税があるのを知らなかったのでびっくりしました。
- ・税金がなければ、生活するのがすごく大変になるので、税金がすごく大切なものと分かりました。
- ・税金がないと、通行するのにもお金が必要なので、税金は絶対に必要だということが分かりました。
- ・アニメを見て、税金のない社会はとても大変だということが分かった。税金はとても大切だと思ったし、いろいろな所で税金が使われていることも分かった。
- ・1 億円はけっこう重かった。



Ⅱ 税に関する授業 ー税金の種類と特徴について調べよう。

(1) 目標 所得税と消費税の特徴を知り、高齢化社会の税金のありかたについて考えさせる。

(2) 使った資料（登米市租税教育推進協議会からいただいた資料を用いて授業を行った。）

- ・平成 30 年度版 小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」
- ・「日本の財政関係資料」 P19「高齢化率の国際比較」P20「なぜ消費税なのか。」

(3) 授業の概要

1 租税クイズに挑戦しよう（「わたしたちの税金と暮らし」の表紙・P5 から

Q5 税金をどのように使うかを決めるのは、内閣総理大臣である。（国会が正答でほとんど正解）

○公立学校の児童・生徒一人当たり 9 年間の教育費に使われる税金はどのくらいだろう。

8 万円 80 万円 800 万円

（多くは 80 万と回答 正解の 800 万円は 3 分の 1 資料 5 ページを見て驚く児童が多かった）

Q3 国の税金は道路や住宅などの整備のために一番多く使われている。

（租税教室の印象が強かったのかほとんど不正解 一番は社会保障費の 34%と知って驚く）

2 国の税金の使いみちを確認する。（「わたしたちの税金と暮らし」P7）

社会保障 > 県・市町村への補助金 > 道路・住宅などの公共事業 > 教育 > 防衛

3 税の種類を想起する。租税教室で聞いた税金でどのようなものを覚えているかな。

消費税 所得税 法人税 たばこ税 酒税 ガソリン税 固定資産税 住民税 地方税

（各人が想起した税は少なかったが、みんなを合わせると結構多くの種類が挙がった）

4 所得税・法人税について理解する。（わたしたちの税金と暮らし P1）

- ・所得税 個人の収入にかかる税。収入の多い人ほど多く納める。
- ・法人税 会社の収益にかかる税。収益の多い会社ほど多く納める。
- ・消費税 買い物をしたときにかかる税。8%

5 社会が高齢化して働く人が減っていく状況の中で、税金が不足しないように増やすとしたらどの税金を増やせばいいか考える。

①日本の高齢化は世界と比べてどうなっているだろう

（「日本の財政関係資料 P19 の国際比較グラフを見せた。2000 年頃世界のトップになったことを確認させる。65 歳以上の割合は現在約 30%であることを確認させる。」

②国が一番税金を使っている社会保障費とは何だろう。

（「わたしたちの税金と暮らし」P7、P8 で 医療・健康・福祉・年金などを理解させる。）

③所得税・法人税 と 消費税 のどちらを増やせばいいのだろう。

最初の質問では 所得税・法人税に挙手した児童が圧倒的多数。理由を聞いてみると

- ・収入の多い人が多く納めるのが当然だから。
- ・大企業はもうかっているから多く納めた方がいい。といった意見がほとんど。
- 消費税に手を挙げた数名に理由をきくと。
- ・こどもや老人など多くの人が払える（納める）から。多くの人から集められるから。
- ・所得税などは、払わなくてもいい人もいるから。働く人だけだと不平等だから。
- ・こどもや老人も払った方がいいから。

消費税に手をあげた児童の意見発表後、改めて どちらかを聞いたところ、消費税に手を挙げる児童が増えた。学校集金やスポ少の会費等にふれ、家庭の経済力によって差をつけていないことを想起させ、税金には会費制的なところもあることを紹介したが、さまざまな意見があるので、自分なりに考えていく必要があることを指導してまとめた。